

茨城大学全学共通英語教育のレベル間接続における現状と課題¹

有田由紀子

1. はじめに

入試制度の多様化に伴い、多くの大学が個人の能力や習熟度に対応した教育を実践するために習熟度別クラス編成による英語授業を導入してきた。茨城大学総合英語プログラム(Integrated English Program) (以下茨城大学 IEP) もその例外でなく、入学直後のプレースメントテストで習熟度別クラス分けを実施している。これによって、学生達は自分の学力に応じた教科書や教材が使用される授業の受講が可能になり、授業についていけない・授業が簡単すぎるなどの問題は解決された。教授する側も授業中に1レベルに集中でき、一人一人の学生に配慮しやすくなるなど、クラスマネジメントの観点で力を発揮しやすくなったといえるだろう。習熟度別クラス編成に関して同様の報告そして様々な課題が言及された事例研究は数多くある(田原他, 2002, 2004; 三川・早川, 2006; 宮前, 2009 他)。

しかし、習熟度別授業の問題は授業初め及び授業中だけでなく、次のレベルに上がってからも起こりうる。特に、次のレベルで自分の能力に合った学習ができているかどうかという点は、学生が英語学習を継続していく際の重要要因であるが、このレベル間の接続に関する問題は今まであまり言及されてきていない。本稿では、茨城大学全学共通で実施している習熟度別英語授業における各レベル間の接続の現状及び課題について、学生と教員アンケートの結果をもとに考察する。調査実施時期の関係で調査対象が少なかつたため、今回はパイロットスタディと位置付けて、見えてきた課題や結果をもとに、今後引き続き調査を続けていきたい。

2. 調査の目的と方法

茨城大学 IEP の習熟度別授業における各レベル間の接続に関して、次レベルでの学習が今までの学習と連続性があるものかどうかレベルコーディネータとして常々心配していた。他レベルのコーディネータと到達目標やシラバス・教材などの共有はしており、内容もある程度は把握していたが、実際に教授してみても比較は複数のレベルを担当する以外不可能であった。そこで、卒業要件であるレベル3とその前後のレベル2・4に絞って、重複して担当している教員と、対象のレベルを複数受講した経験がある学生を対象にしたアンケート調査を行った。その結果からレベル間の接続に関する学生と教員との意識の相違点・共通点を考察し、今後の課題を探っていきたい。本研究の研究課題は以下の通りである。

(1) 研究課題

レベル2と3、レベル3と4の接続がスムーズにできているかを学生と教員の視点から検証する。

この研究課題に対するアプローチとして、学生及び教員アンケートの集計結果をもとに、レベル2・3・4の学習内容の難易度に関する学生と教員の意識の相違点・共通点を考察し、各レベル間接続の課題点を検討する。

2.1. 調査時期・調査対象

本調査は平成21年度前期授業期間中に実施した。平成20年度にレベル2・3を担当した教員と、レベル3・4を担当した教員、及び、年度に関係なく対象レベルのうち複数のレベルを受講した経験のある（または現在受講中の）学生にアンケート調査を依頼し、教員延べ9名、学生延べ54名から回答を得た²。前期授業中（6月）にアンケートを実施したため、レベルを一つしか受講していない1年生が対象から外れ、調査数が減少した。また、教員の授業準備等の仕事量を考慮して、できるだけ同じレベルを担当するように調整しているため、複数のレベルを担当した経験がある教員も少数であった。これらの要因から、今回は予備調査として位置づけ、今後の調査に繋げるものとした。

2.2. アンケート質問項目

本研究では質問項目の関連付けに注意しながら、学生用アンケートと教員用アンケートを作成した。基本的に5点法リッカートスケールを使用した質問を用いたが、理由や意見などを具体的に聞く問題にのみ記述式の質問を用いた。

教員用アンケートは14問の質問項目から成っている³。各レベルの到達目標に関連するものとしてプレゼンテーション・ライティング・スピーキング・リーディング・リスニングの学習内容が各レベルのクラス内の学生の習熟度にあっていたかどうかを質問した。そして教材に関する質問として教科書が学生にとって難しかったかどうかを聞いた。それぞれ「難しい」「やや難しい」「ちょうどよい」「やや易しい」「易しい」の5点スケールから選んでもらう質問である。最後に、レベル間の接続に関する提案や意見を記述してもらった。

学生用アンケートは各レベルで使用する教科書に関する質問数が異なるため、13－14問の質問から構成されている⁴。まず総合英語授業に関する基礎的質問として、習熟度別授業を受けたことが良かったかどうか、そして、それぞれのレベル授業の満足度を聞いた。次に、満足度と授業への積極的参加度の関連を調べるため、各レベルの授業へ積極的に参加したか（しているか）どうかを尋ねた。そして、具体的な授業内容や教材の難易度に関して、各レベルの総合的な授業の難易度、教科書の難易度のレベル間での比較、プレゼンテーション・ライティング・スピーキング・リーディング・リスニングの学習内容の難易度を聞く質問をした。これらの質問も教員アンケートと同様、「難しい」「やや難しい」「ちょうどよい」「やや易しい」「易

しい」の5点スケールから選んでもらう質問形式である。最後に、関連するレベル授業についての意見を自由記述で聞いた。

教員用と学生用アンケートの中で、到達目標に関連するそれぞれのアクティビティ（プレゼンテーション・ライティング・スピーキング・リーディング・リスニング）に関する質問項目を共通にしたのは、教員と学生の意見を直接的に比較するためである。教員は学生のレベルに合っていると感じている場合でも、学生の視点では難しすぎたり簡単すぎたりといったずれが生じる可能性がある。また、学生アンケートに各レベル授業での満足度と難易度を聞く質問項目を入れた。これは、難易度と満足度の相関関係を調べる意図からである。

3. 学生アンケート調査結果

この節では、学生アンケートの集計結果をアンケートの質問項目別に示し分析していく。

3.1. 習熟度別授業について

まず基礎的な質問として、「習熟度別授業を受講してよかった」かどうかを尋ねた。5点スケールでの回答を集計した。レベル2と3の接続に関するアンケートの回答を表1の「レベル2・3」の欄に、レベル3と4の接続に関するアンケートの回答を「レベル3・4」の欄に記してある。アンケート回答数は「レベル2・3」が44で「レベル3・4」が10である。

表1 習熟度別授業（単位：人）N=54

	全く同意しない	同意しない	どちらとも いえない	同意する	強く同意する
レベル2・3	1	1	7	19	16
レベル3・4	0	1	3	4	2
合計	1 (2%)	2 (4%)	10 (19%)	23 (43%)	18 (33%)

合計を見ると「全く同意しない」が2%、「同意しない」が4%、「どちらともいえない」が19%、「同意する」が43%、「強く同意する」が33%であった。比較対象レベルごとにみると、レベル2・3とレベル3・4ともに、合計数にみられる傾向と同様に、「同意する」が最も多く、次に「強く同意する」「どちらともいえない」「同意しない」「全く同意しない」の順でだんだん少なくなっている。

習熟度別授業に否定的な意見が6%、肯定的な意見が76%という結果から、学生達の大多数が習熟度別授業を容認し好意的に感じていることが分かる。全く同意しないという学生の理由をみると「(英語は) 実生活に必要なない。(英語を) 社会に出ても使わない。」というものである。これは英語学習自体への否定的な態度と見て取れ、習熟度別授業がよかったかどうかという問

題にはあまり関係ないと考えられる。そのため、ここでは習熟度別授業への否定的意見とみなす必要はないかもしれない。

3.2. 各レベル授業の満足度

次に各レベル授業の満足度を尋ねた。結果は表2に示した通りである。レベルの接続がうまくいっているかどうかを学生の満足度から考察する。

表2 各レベル授業の満足度 (単位:人)

	全く同意しない	同意しない	どちらとも いえない	同意する	強く同意する
レベル2	1 (2%)	1 (2%)	7 (16%)	16 (37%)	19 (43%)
レベル3	3 (6%)	6 (11%)	17 (31%)	21 (39%)	7 (13%)
レベル4	0 (0%)	0 (0%)	3 (30%)	4 (40%)	3 (30%)

レベル2では80%の学生が、レベル3では52%の学生が満足しているという結果が出た。レベル4は調査数が少ないが、70%の学生が満足している。どのレベルでも半数を超える学生が満足していることを考えると、レベル間の接続は概ねうまくいっているように思われる。

ただ、3つのレベルを比較すると、レベル3の満足度が他のレベルよりやや低いことが分かる。これはレベル2から3への、またはレベル3から4への接続に障害があることを示すものであろうか。下に記述式で聞いた満足度に関わる要因を示す。

(2) 満足度に関わる要因 (単位:人)

レベル2: [肯定的] 楽しかった (8)、レベルがあっていた (6)、わかりやすかった (5)、先生のサポートがよかった (4)、基本的なことを復習できた (2)、英語の力がついていた (2)、生きた英語に触れられた (1) / [否定的] 文法をカバーしてほしかった (1)

レベル3: 楽しい (4)、わかりやすい (2)、レベルがあっている (2)、授業のバランスがよい (2)、英語の力がついた (2)、先生のサポートがよい (1) / [否定的] 難しい (7)、課題が多い (2)、厳しい (1)、よくわからない (1)、レベル2とかわらない (1)

レベル4: [肯定的] 楽しい (2)、わかりやすい (1)

満足度がかなり高かったレベル2とレベル4では、肯定的な要因「(授業が)楽しい」「(授業が)わかりやすい」「(授業の)レベルがあっていた」などの記述が多かった。一方、レベル3では同様の肯定的な意見もみられたものの、「難しい」という意見が多くみられた。これはレベル3の難易度が高すぎることを示唆する可能性もある。次の節で各レベル授業の難易度に関する調査結果を示し、レベル間接続に関するさらなる検証を進めることにする。特にレベル3にお

いて満足度と難易度の相関関係はあるだろうか。

3.3. 授業の難易度

表3は各レベルの難易度に関する回答集計結果である。レベル2では84%の学生がちょうどよいと感じていて、難しいと感じた学生はいない。レベル3では難しいと感じている学生が約10%おり、やや難しいと答えた学生と合わせると44%の学生が難しさを感じている。レベル4では難しいと感じる学生はおらず、やや難しいと感じる学生が40%であった。レベル4の調査数が少ないため他レベルとの比較は行わず、ここではレベル2と3に焦点を当ててみたい。

表3 各レベル授業の難易度 (単位：人)

	難しい	やや難しい	ちょうどよい	やや易しい	易しい
レベル2	0 (0%)	3 (7%)	36 (84%)	4 (9%)	0 (0%)
レベル3	5 (9%)	19 (35%)	28 (52%)	2 (4%)	0 (0%)
レベル4	0 (0%)	4 (40%)	4 (40%)	2 (20%)	0 (0%)

レベル2からレベル3に進んだ場合、レベル3での内容をやや難しいと感じる程度が適度なレベル設定だと考えると、接続はほぼうまくいっていると言えるだろう。ここで少し注意したいのは、難しいと感じている9%の学生である。もし難しいと感じている学生が満足度も低いという結果であれば、満足度の低さの要因が難易度であるといえる。しかし調べてみると満足度と難易度の相関関係はみられなかった。難しいと感じている学生の中にも、とても満足したと回答した者が複数見られたのである。つまり、満足度に関して難易度が要因の一つであるとは考えられるが、難易度が決定要因ではないということが示唆された。それでは他に何が決定要因として働いているのかという疑問がまだ残っている。これは3.5.以降で、教材とアクティビティに焦点を当てた質問項目の分析を通して明らかにしていきたい。

3.4. 授業への参加

授業の満足度と授業への積極的な参加の関連性を調べる目的で、次のレベルに進んだ時に授業に積極的に参加した(している)かどうかを尋ねた。その集計結果を表4に示す。

表4 レベル3とレベル4の授業への積極的な参加態度 (単位：人)

	全く同意しない	同意しない	どちらとも いえない	同意する	強く同意する
レベル3	1 (2%)	11 (25%)	22 (50%)	5 (11%)	5 (11%)
レベル4	0 (0%)	1 (10%)	2 (20%)	2 (20%)	5 (50%)

レベル3では「どちらともいえない」が50%と一番多く、積極的に受講していなかった学生が27%、積極的に受講した学生が22%という結果が出た。レベル4では、積極的に受講した学生が70%、どちらともいえないと答えた学生が20%、積極的に受講していなかった学生が10%であった。

どちらともいえない、または積極的に受講していない学生が、レベル3で77%もいたことから、満足度との関連を調べたが、全体的には相関は見られなかった。ただ、かなり積極的に参加したと回答した学生グループは、満足度も高い傾向にあるようである。この傾向はレベル4でも見られた。しかし、その逆は真ではなく、満足度が高い学生が積極的に参加したとは言いきれないという結果になった。つまり、積極的に参加しない学生でも、その他の要因で満足度が上がり得るということになる。茨城大学 IEP では学生の積極的な授業参加を促進しているが、学生によっては受動型で授業を受講した場合も満足度が高いという結果が出たのは興味深い。学生の個性を念頭に入れることはもちろんだが、様々な学生の多様な学習スタイルを考慮した、多種多様な学習ストラテジーを提供することが望ましいことがより明らかになった。

3.5. 教科書について

各レベルで使用している教科書の難易度を聞いた結果が表5である。レベル3では2種類の教科書を使用しているため [1] [2] と表示している。

表5 レベル3とレベル4の教科書の難易度 (単位:人)

	難しい	やや難しい	ちょうどよい	やや易しい	易しい
レベル3 [1]	4 (9%)	13 (30%)	26 (59%)	1 (2%)	0 (0%)
レベル3 [2]	6 (14%)	21 (48%)	16 (36%)	1 (2%)	0 (0%)
レベル4	1 (10%)	3 (30%)	6 (60%)	0 (0%)	0 (0%)

レベル3の教科書 [1] とレベル4の教科書の難易度を見ても、60%の学生がちょうどよいと回答している。教科書が簡単すぎると感じている学生はほとんどおらず、難しいと感じている学生が約40%ずつであった。レベル3の教科書 [2] では、半数がやや難しいと答え、14%が難しいと答えている。

レベル3の教科書 [2] に関して学生は難易度が高いと感じているようである。教科書 [1] と内容等を比較してみると、顕著な違いは取り上げられているトピックと学習スタイルである。教科書 [2] のトピックは、例えば「Smoking: Should smoking be allowed in public places?」のような日本と海外の社会問題に限定されている。社会問題を取り上げる場合、語彙が難しくなりがちであるが、この教科書でも注で補足してあるものの、全体的には学生に馴染みのない語彙が多くみられる。もちろん、語彙が難しい教科書が学習教材としてよくないということではないが、学生が難易度が高いと感じる一つの要因になりうると思われる。また、教科書 [2] の学

習スタイルに注目すると、リーディングとリスニングが中心となっている。ペアワークなどコミュニケーション的要素が多い教科書[1]と比較すると、リーディング量の多さやアクティビティの種類の少なさにより、難易度が高いと感じられるのかもしれない。

レベル3の教科書[2]の難易度とレベル3授業の難易度の回答結果を詳しく調べてみると、教科書[2]が難しいと回答した学生6名中、1名が授業も難しいと答えており、5人はやや難しいと回答していた。教科書[2]がやや難しいと答えた学生21名では、授業が難しいと回答したのは3名、やや難しいと回答した学生が11名、ちょうどよいと答えた学生が7名であった。教科書[2]がちょうどよいと回答した16名中、授業が難しい・やや難しいと答えた学生は各1名ずつ、授業の難易度もちょうどよいと答えた学生が14名であった。

この回答結果の分析をみると、レベル3の教科書[2]が難しい・やや難しいと感じている学生の多くは、レベル3の授業も難しいあるいはやや難しいと感じているということがいえる。つまり、教科書の難易度もレベル授業の難易度に反映されているということになる。

3.6. アクティビティ別難易度

茨城大学 IEP では、総合的な英語力の習得を目指しており、各レベル授業でプレゼンテーション・ライティング・スピーキング・リーディング・リスニングのアクティビティをバランスよく取り入れている。各アクティビティの難易度を尋ねた質問の結果を表6・7に示す。表5はレベル3、表6はレベル4の集計結果である。

表6 レベル3のアクティビティ別難易度(単位:人)

	難しい	やや難しい	ちょうどよい	やや易しい	易しい
Presentation	11 (25%)	19 (43%)	13 (30%)	1 (2%)	0 (0%)
Writing	6 (14%)	23 (52%)	14 (32%)	1 (2%)	0 (0%)
Speaking	5 (12%)	23 (53%)	14 (33%)	1 (2%)	0 (0%)
Reading	4 (9%)	23 (52%)	17 (39%)	0 (0%)	0 (0%)
Listening	6 (14%)	24 (55%)	12 (27%)	2 (4%)	0 (0%)

表7 レベル4のアクティビティ別難易度(単位:人)

	難しい	やや難しい	ちょうどよい	やや易しい	易しい
Presentation	1 (10%)	4 (40%)	5 (50%)	0 (0%)	0 (0%)
Writing	1 (10%)	2 (20%)	6 (60%)	0 (0%)	1 (10%)
Speaking	2 (20%)	2 (20%)	6 (60%)	0 (0%)	0 (0%)
Reading	0 (0%)	4 (20%)	6 (60%)	0 (0%)	0 (0%)
Listening	0 (0%)	4 (40%)	6 (60%)	0 (0%)	0 (0%)

レベル3では各アクティビティに関して、30%前後の学生がちょうどよいと感じており、60 - 70%の学生はやや難しいまたは難しいと回答している。一方、レベル4では、プレゼンテーションを除いたライティング・スピーキング・リーディング・リスニングでは60%の学生がちょうどよいと感じており、30 - 40%の学生はやや難しいまたは難しいと回答している。プレゼンテーションに関しては、ちょうどよいと感じる学生とやや難しいまたは難しいと感じる学生が50%ずつという結果であった。

各レベルの調査対象人数の違いがあるためはっきりとした比較は難しいが、全体的に見ると、レベル3のアクティビティは全て「やや難しい」傾向にあり、レベル4のアクティビティは「ちょうどよい」と思っている学生が多いといえそうである。

レベル3授業の難易度が高い理由を探るため、各アクティビティ別にみると、特に難易度が高いと感じた学生が多かったのはプレゼンテーションで、11名(25%)の学生が難しいと回答している。この学生のうち、3名はレベル授業も難しいと答え、7名がやや難しい、1名のみがちょうどよいという回答であった。プレゼンテーションがやや難しいと回答した19名中、授業もやや難しいと答えた学生が10名いた。プレゼンテーションが難しい・やや難しいと回答した学生のうち、3名が授業も難しいと感じ、17名がやや難しいと感じているという結果をみると、レベル3でのプレゼンテーションの難易度もレベル授業の難易度に反映されているといえる。

レベル3のプレゼンテーションの難易度が高い理由を分析してみると、まずレベル2で行うプレゼンテーションに比べ、レベル3のプレゼンテーションの語数・発表時間が増える。また、テーマが日常的话题から社会問題になり、ほぼ暗記して発表するなど、プレゼンテーションの質が異なることが考えられる。取り上げるテーマである社会問題は、難易度が高いと認識された教科書[2]からのトピックであるという点も関連している可能性がある。

4. 教員アンケート結果

次に、各レベルの接続に関する教員用アンケートの集計結果を示していく。上述の通り、複数のレベルを担当した教員数が少なかった。そのため、それぞれの回答の割合でははっきりとした分析結果が出にくい可能性を考慮し、平均値を計算した。

教科書に関する質問の集計結果が表8である。教員用アンケートではレベル2・3・4のそれぞれの教科書について、レベル授業を受講していた学生に適していたかどうかを尋ねた。5段階での回答(1:難しい、2:やや難しい、3:ちょうどよい、4:やや易しい、5:易しい)の平均値を示した。

表 8 各レベル授業の教科書の難易度 N=9

教科書	平均値
レベル 2	3
レベル 3 [1]	3
レベル 3 [2]	2.7
レベル 4	2.8

レベル 2 の教科書とレベル 3 の教科書 [1] に関しては、平均値が 3 で、ちょうどよいという意見であった。レベル 3 の教科書 [2] では平均値が 2.7、レベル 4 の教科書は 2.8 で、やや難しいという結果であった。

平均値が 3 であった 2 種類の教科書は、同じシリーズの 4 技能型教科書である。日常的で馴染みのあるピックを扱っていることや、リスニングやペアワークなどコミュニケーション能力育成を目指した活動が多くみられることから、学生にとっては取り組みやすい教材である。教員の視点から見ても学生の能力に合っていたという結果が出ている。レベル 3 の教科書 [1] に対する結果が学生の意見と同様であったことから、レベル 3 授業における教科書 [1] の難易度が適切であったことがより裏付けられた。また、学生が難しく感じた教科書 [2] に関しても、調査した教科書中一番難易度が高いという結果になり、学生の意見と同じであった。

次に、各レベルの到達目標に即して行われているアクティビティについて分析する。各アクティビティがそれぞれのレベルの学生に合っていたかどうかを聞いた集計結果が表 9 である。

表 9 各レベル授業のアクティビティの難易度 (平均値)

	Presentation	Writing	Speaking	Reading	Listening
レベル 2	3	3	3	3	2.5
レベル 3	2.5	2.1	2.4	2.7	2.4
レベル 4	2.6	2.2	2.5	2.7	2.4

レベル別にみると、レベル 2 では、リスニングが 2.5 と少し難易度の高さを示す数値であるが、他はすべて平均値 3 で、難易度は適切であるという回答であった。レベル 3 では、全体的に平均値が 3 より低く、難易度が高いという結果であった。プレゼンテーションが 2.5、ライティングが 2.1、スピーキングが 2.4、リーディングが 2.7、リスニングが 2.4 となっており、ライティングの数値が最も低かった。レベル 4 でも全体的には平均値 3 を下回る結果になった。内訳は、プレゼンテーション 2.6、ライティング 2.2、スピーキング 2.5、リーディング 2.7、リスニング 2.4 である。ここでもライティングの難易度が高いと考えている教員が多い。

この結果から、レベル 2 の授業でのアクティビティの難易度はほぼ適切であるといえるだろう。

う。レベル3と4では、リーディングが適切な値に近く、ライティングの難易度が学生にとって高かったという意見である。レベル3とレベル4の結果を比較すると、僅かな差ではあるが、教員がレベル3のアクティビティの方が学生にとって難易度が高かったと感じていることがわかる。

ここで注意しておきたいのは、プレゼンテーションの難易度の認識が学生の認識と異なっているという点である。学生はレベル3でも4でもプレゼンテーションが一番難しかったという回答が多かったのに対し、教員はライティング、リスニング、スピーキングの方が難易度が高かったと認識している。

さらに教員の意見を検証するために、レベルの接続に関する意見や提案を見てみよう。

(3) 教員の記述から

- ・レベル2－3の接続に問題なし（1人）
- ・レベル3－4の接続に問題なし（2人）（コントロールされた英語から生の英語への移行が見られる（1人））
- ・レベル3はレベル4より demanding である（3人）（reading の割合が大幅に増えた・内容が多すぎる・ブックレポートの難易度が高い）
- ・レベル3の教科書[2]は浮いている（1人）・簡単（1人）・トピック提示のための教材程度でよいのでは（1人）

これらの記述式回答から、学生と教員の共通認識がいくつか見られた。まず、レベル3の教科書[2]への違和感である。他の教科書に比べて難しい・異色などといった意見がみられた。そしてもう1点は、学生・教員ともにレベル3はレベル2・4より内容が多いと感じている割合が高いということである。相違点としては、上述の通り、学生はレベル3のプレゼンテーションの難易度が高いと感じているが、教員はライティングの難易度が高いと感じていることである。

5. 考察と今後の課題

以上のアンケート集計結果の分析から、レベル間接続は大部分スムーズであるといえそうであるが、いくつか課題も明らかになった。

まず、レベル間接続がうまくいっているという証拠として満足度がある。満足している学生の割合がレベル2・4では70%以上、レベル3では55%であったことから、半数以上の学生がレベル授業に満足していることが実証された。また、学生の記述回答から、満足度に特に関係する要因が、「授業の楽しさ」「授業の分かりやすさ」「授業のレベルの適切さ」であることが観察された。

しかし、これらのポジティブな結果が見られた一方で、学生から「授業のアクティビティ（特にプレゼンテーション）や教科書が難しい・課題が多い」といったネガティブな意見が出されたことも見逃せない。レベル2とレベル3の接続には難易度・学習量のバランスなどの点で改善の余地があるといえそうである。

今回の調査で見えてきた課題として次の4つの点を挙げたい。

(4) レベル間接続に関する課題

- a. レベル2と3の間の、特にプレゼンテーションの難易度の調整。
- b. レベル2・3・4での学習内容のバランス。
- c. 教科書（特にレベル3教科書[2]）の内容・使用方法等の検討。
- d. 学生と教員の意識の違いなどを、レベルコーディネータから各教員へフィードバックする方法の一層の充実。（例：FD ミーティングなど）

これらの課題に取り組むことで、レベル間接続の更なる改善が期待される。レベル2・3のプレゼンテーションの難易度や学習内容に関しては、レベルコーディネータ同士の連携が欠かせない。また、フィードバックの際には、例えば今回観察された、「授業の楽しさ」「授業の分かりやすさ」「授業のレベルの適切さ」という満足度に特に関係する要因など、授業を遂行する際に重要となる点を各教員に伝えることによって、レベル間接続だけでなく、個々の授業の質の改善にもつながると考えられる。

最後に、今後の調査への課題を検討したい。まず、アンケート調査に用いた質問項目に関する課題を考える。今回の調査では、レベルの接続を強く意識したため「レベル2と比べて」「レベル3と比べて」というように、前レベルと比較して回答を求めた質問項目をいくつか用いた。しかしこの場合、例えば個々のアクティビティの難易度を回答する質問で、自分のレベルに合っていたとしても、前レベルと比べるとかなり難しいと考えて「難しい」を選択する学生がいた可能性がある。自分の実際の能力レベルとかけ離れているかどうか重要なので、次回の調査では、各レベルで個々のアクティビティや教材自体の難易度を聞く質問項目を使用したい。次に、調査数及び調査時期の課題がある。今回は前期に実施したため、特にレベル4の授業に関する調査数が少なかった。次回の調査は後期に行うことで調査数を増やし、さらに信頼性の高い調査を行いたい。それと同時に、教員の調査数も増やす必要がある。対象年度を増やすなど、より多くの意見を収集できる方法を検討していきたい。

注

- 1) 本稿は、2009年6月21日に開催された大学英語教育学会（JACET）関東支部大会での発表「全学共通英語教育の現状と課題－茨城大学習熟度別授業を通して考える－」を基に、レベル間接続に関する更なるリサーチと考察を加えてまとめたものである。
- 2) 過年度生でレベル2・3・4を全て受験した経験のある学生が含まれるため延べ人数になっている。教員の場合も同様に、3つのレベルを担当した教員がいたため、延べ人数になっている。
- 3) 教員用アンケート質問項目は資料1参照。他の項目と合わせて実施したアンケートの関連項目の抜粋である。
- 4) 学生用アンケート質問項目は資料2参照。調査当初は、本研究の趣旨への同意及び回答への協力の承諾書をアンケートの前に記述し記名をしてもらう様式を使用した。しかし、記名アンケートより無記名アンケートの方が学生が本音を書きやすいという意見があり、途中でアンケートの最後に切り取り式の承諾書をつけた。

参考文献

- 田原 良子・堀江 美智代・森永 初代 (2002) 「習熟度別クラス編成に関する考察 (3)」『鹿児島純心女子短期大学研究紀要 第32号』 pp. 137-151.
- 田原 良子・堀江 美智代・森永 初代 (2004) 「習熟度別クラス編成に関する考察 (4)」『鹿児島純心女子短期大学研究紀要 第34号』 pp. 129-142.
- 三川 克俊・早川 勇 (2006) 「愛知大学経済学部英語授業の改善：習熟度別クラス編成の2005年度実施とCALL導入」『愛知大学 言語と文化 No.14』 pp.39-54.
- 宮前 和代 (2009) 「習熟度別英語授業の実践と成果：法学部の調査を中心に」『専修大学外国語教育論集 37号』 pp.55-77.

資料1 教員アンケート

IV. 各レベル間の接続

平成20年度に複数レベルをご担当された先生にお伺いします。茨城大学総合英語のレベル間接続について、お伺いしますので、適切な番号を選択し、各項目の()内にお書きください。

A. 平成20年度前期レベル2、後期レベル3を担当された先生へのご質問

1	2	3	4	5
-----	-----	-----	-----	
難しい	やや難しい	ちょうどよい	やや易しい	易しい

1. () レベル2の教科書 Interchange は学生にとっていかがでしたか。
2. () レベル3の教科書 Interchange は学生にとっていかがでしたか。
3. () レベル3の教科書 Both Sides Now は学生にとっていかがでしたか。
4. () レベル2のプレゼンテーションは学生にとっていかがでしたか。
5. () レベル3のプレゼンテーションは学生にとっていかがでしたか。
6. () レベル2のライティングは学生にとっていかがでしたか。
7. () レベル3のライティングは学生にとっていかがでしたか。
8. () レベル2のスピーキングは学生にとっていかがでしたか。
9. () レベル3のスピーキングは学生にとっていかがでしたか。
10. () レベル2のリーディングは学生にとっていかがでしたか。
11. () レベル3のリーディングは学生にとっていかがでしたか。
12. () レベル2のリスニングは学生にとっていかがでしたか。
13. () レベル3のリスニングは学生にとっていかがでしたか。
14. レベル2とレベル3の接続についてご提案、ご意見などありましたらお願い致します。

B. 平成20年度前期レベル3、後期レベル4を担当された先生へのご質問

1	2	3	4	5
-----	-----	-----	-----	
難しい	やや難しい	ちょうどよい	やや易しい	易しい

1. () レベル3の教科書 Interchange は学生にとっていかがでしたか。
2. () レベル3の教科書 Both Sides Now は学生にとっていかがでしたか。
3. () レベル4の教科書 Hot Topics 2 は学生にとっていかがでしたか。
4. () レベル3のプレゼンテーションは学生にとっていかがでしたか。
5. () レベル4のプレゼンテーションは学生にとっていかがでしたか。
6. () レベル3のライティングは学生にとっていかがでしたか。
7. () レベル4のライティングは学生にとっていかがでしたか。
8. () レベル3のスピーキングは学生にとってどうでしたか。
9. () レベル4のスピーキングは学生にとっていかがでしたか。
10. () レベル3のリーディングは学生にとっていかがでしたか。
11. () レベル4のリーディングは学生にとっていかがでしたか。
12. () レベル3のリスニングは学生にとっていかがでしたか。
13. () レベル4のリスニングは学生にとっていかがでしたか。
14. レベル3とレベル4の接続についてご提案、ご意見などありましたらお願い致します。

資料2 学生アンケート

総合英語プログラムアンケート (レベル2とレベル3用)

今回、総合英語プログラムについてのアンケートを行います。このアンケートの目的は、学生の皆さんの現状を把握し、問題点を解明し、より充実した英語のプログラムにするというものです。なお、このアンケート結果は、学術目的（英語教育関連等の学会・研究会での発表や研究論文での発表）で使用させていただきます。本アンケートで知りえきました個人情報には研究以外では使用いたしませんことをお約束いたします。

本アンケートの主旨をご理解いただきました場合は、下記へご自分のお名前を記入してください。

レベル2とレベル3の授業に関してお伺いします。

スケール上の適切な番号を選択し、各項目の（ ）内に番号を書いてください。

1	2	3	4	5
-----	-----	-----	-----	-----
全く同意しない	同意しない	どちらともいえない	同意する	強く同意する

1. () 習熟度別（レベル別）で英語の授業を受けたことは良かった。
2. () レベル2の授業に満足した。
理由を具体的に記述してください。
()
3. () レベル3の授業に満足している。
理由を具体的に記述してください。
()
4. () レベル2の授業と比べて、レベル3の授業には積極的に参加している。

授業や教材の難易度に関してお伺いします。

スケール上の適切な番号を選択し、各項目の（ ）内に番号を書いてください。

1	2	3	4	5
-----	-----	-----	-----	-----
難しい	やや難しい	ちょうどよい	やや易しい	易しい

5. () レベル2授業の難易度はどうでしたか。
6. () レベル3授業の難易度はどうですか。
7. () レベル3の教科書 Interchange はレベル2の教科書 Interchange と比べてどうですか。
8. () レベル3の教科書 Both Sides Now の難易度はどうですか。
9. () レベル3のプレゼンテーションはレベル2のプレゼンテーションと比べてどうですか。
10. () レベル3のライティングはレベル2のライティングと比べてどうですか。
11. () レベル3のスピーキングはレベル2のスピーキングと比べてどうですか。
12. () レベル3のリーディングはレベル2のリーディングと比べてどうですか。
13. () レベル3のリスニングはレベル2のリスニングと比べてどうですか。
14. レベル2とレベル3の授業に関して何かご意見があれば聞かせてください。
()

ご協力ありがとうございました。

総合英語プログラムアンケート (レベル2とレベル3 修了学生用) (質問項目のみ)

レベル2とレベル3の授業についてお伺いします。

スケール上の適切な番号を選択し、各項目の()内に番号を書いてください。

1	2	3	4	5
-----	-----	-----	-----	
全く同意しない	同意しない	どちらともいえない	同意する	強く同意する

1. () 習熟度別(レベル別)で英語の授業を受けたことは良かった。
2. () レベル2の授業に満足した。
理由を具体的に記述してください。
()
3. () レベル3の授業に満足した。
理由を具体的に記述してください。
()
4. () レベル2の授業と比べて、レベル3の授業には積極的に参加している。

授業や教材の難易度についてお伺いします。

スケール上の適切な番号を選択し、各項目の()内に番号を書いてください。

1	2	3	4	5
-----	-----	-----	-----	
難しい	やや難しい	ちょうどよい	やや易しい	易しい

5. () レベル2 授業の難易度はどうでしたか。
6. () レベル3 授業の難易度はどうでしたか。
7. () レベル3の教科書 Interchange はレベル2の教科書 Interchange と比べてどうでしたか。
8. () レベル3の教科書 Both Sides Now の難易度はどうでしたか。
9. () レベル3のプレゼンテーションはレベル2のプレゼンテーションと比べてどうでしたか。
10. () レベル3のライティングはレベル2のライティングと比べてどうでしたか。
11. () レベル3のスピーキングはレベル2のスピーキングと比べてどうでしたか。
12. () レベル3のリーディングはレベル2のリーディングと比べてどうでしたか。
13. () レベル3のリスニングはレベル2のリスニングと比べてどうでしたか。
14. レベル2とレベル3の授業に関して何かご意見があれば聞かせてください。
()

ご協力ありがとうございました。

総合英語プログラムアンケート (レベル3とレベル4用) (質問項目のみ)

レベル3とレベル4の授業についてお伺いします。

スケール上の適切な番号を選択し、各項目の()内に番号を書いてください。

1	2	3	4	5
-----	-----	-----	-----	
全く同意しない	同意しない	どちらともいえない	同意する	強く同意する

